



三島
日本大学

同窓会々報

第 24 号

平成 5 年 11 月 3 日
静岡県三島市文教町 2
日本大学三島同窓会発行

平成五年度

常任幹事会・幹事会開催

◎常任幹事会

平成五年七月十六日(金)十七時三十分から、母校八号館二階において開催され、幹事会の運営・議事内容について審議された。

◎幹事会

常任幹事会に引き続き、七月十六日(金)十八時から幹事会が開催された。

会は国際関係学部一期卒業生の宮下公雄氏の司会で進行され、宮澤主計会長挨拶の後、議長団・書記が選出された。議長に鈴木邦良氏、副議長に山田浩子氏が、書記には斉藤聡氏がそれぞれ選出され、議事に入り、次の事項が報告、審議され承認された。

議事

- 一、平成四年度事業報告
- 一、平成四年度決算報告
- 一、監査報告
- 一、平成五年度事業計画
- 一、平成五年度予算
- 一、平成六年度役員の件
- 一、各科活動状況報告
- 一、その他

なお、事業関係は佐野勝巳事務局長、予算・決算関係は土屋忠得會計担当常任幹事より説明があり、監査報告は持田光雄監査により行われた。(詳細は六頁参照)

また平成六年度役員改選については、宮沢会長より、同窓会規約第二十三条に基づき、平成六年三月三十一日付をもって任期満了となるため、現役員の改選案が出され、次期会長には渡辺勝一副会長を、副会長は小椋貞夫氏を推薦したいとの提案がされた。また常任幹事、幹事についても変更され、期は、推薦者を事務局へお願いしたいとの依頼がありました。その他、開設五十周年記念に係わる事業の件について、西村美枝子準備委員長より説明があり、来年度から募金活動をしたいとの旨の報告があった。

幹事会に続いて懇親会が同会場にて盛大に行われ、十一月三日(水)四時の総会に結集するとのお互いの意志をかため散会した。

イチヨウ並木



短期大学部(三島)次長 谷口富男

まったたのことである。樹齢もおよそ七十年を越えている。

私は大学のグラウンドの根際(ねぐさ)に住み始めて三十数年になる。大学へ通勤するにはこのイチヨウ並木路を往復することになる。春先になると芽をふきだし、一日、一日大きく伸びていく姿は他の木木とは異ってみえる。緑の濃い鮮やかな色あい私の気持ちに強く印象づけられ、士気を鼓舞させてくれる。

銀杏(ギンナン)——中国原産の落葉高木。日本では古くから神社とか寺院の境内に植えられていたが、近年は街路樹として植えられ、人々によろこばれている。と平凡社の百科事典にある。

私の生まれは北海道帯広市である。寒い北国では育たないようで、帯広ではみることがないが、札幌では街路樹としても植えられている。

大正八年十一月横須賀より三島市岩崎に野戦重砲兵第二聯隊と翌年大正九年十一月同じく横須賀より第三聯隊の一個旅団が移つてきたそうである。これらを契機にしてイチヨウの木を植えた土地の人たちは話してくれる。そしてさらにイチヨウの樹と樹との間に桜の木を植えたそうだ。イチヨウの樹の精の強さで桜の木が枯れてし

い黄色となる。特に夕陽をうけて映える景観はすばらしい。立派な絵画である。

イチヨウの木の本数は学校・JR教習所・三島税務署・バス停留所等の入口などの関係で現在は一二十本である。近年交通機関の発達により、特に車の数が増えたので、イチヨウの樹を切り倒して車道の中を広げたらという噂が広まった。三島にはこのイチヨウの樹を保護・守る会があるそうで、その人たちが早速イチヨウの樹一本一本の周囲を石で囲った。この話しをきいたとき私は異様な気持ちを感じた。これらの樹々は一般通行人・さらにこの界隈の小学生から大学生に至るまで、教育を受ける人々にかげがえのない環境を与えていることを知らない連中だ。自然は生きている。われわれ人間に生命を与え、物事を考え出す資源を供給しているのだ。

イチヨウの樹は私に清静な気持ち・粘り強さ・逞しさ・大らかさ等をもつようにいつも教えてくれているように思える。

この並木の北側から二本目の大樹は大軍の雀に寝座を供していた。昼間労働をすませ夕方この樹に戻り、いろいろな報告し合うのだろう。大変な賑わいである。ところがあの日からすつかり姿を消してしまった。誰か邪悪な人間が彼等を脅したのであろう。東レ工場側の樹に移動してしまつた。しばらくそこで賑わっていたが、その後姿を消してしまつた。雀は鳥類の中では非常に臆病な鳥であることを知らないものの仕業であらう。

秋になると銀杏のなる樹がある。昼間軍手またはビニール手袋をはめて拾い集める人をみかける。夜になるとグループで、あるものは大枝に登つて、力をもつて揺り落とす。他のものは路面にシートを敷くとか、竹ボーキを持って、落ちてくるギンナンをかき集める。

その作業の仕方の速さに感心して、じつとみつけることがある。車道には近年多量の車が走るの、その間をぬつてやらなければならぬのだから、正に命がけの作業のように見受けられる。

英語ではイチヨウの実(ギンナン)を Gingo or Ginkgo といい、木は Gingo tree or Ginkgo tree という。

七十有余年の歴史をもつこのイチヨウ並木がいつまでも人々に恵みをもたらし、ますます根強く伸びて行くことを心から祈つて止まない。

長泉町下土狩の渡辺正昭氏の屋敷内にある大イチヨウ(県指定天然記念物)は樹齢二千年といわれている。この大樹のように末長く生きるように。



第二の故郷

日大三島

二期 松本秀雄

去る平成五年三月二十六日、伊豆長岡の八の坊旅館にて、日本大・学三島学園出身の運動部OB会を、四十数年ぶりに開催する事が出来ました。

OB諸君は、すでに現役を引退され、それぞれ第二の人生を歩んでおられる方や自営業の方等、それぞれの分野で益々お元気に御活躍なさって居り、非常にうれしく心あた、まる思いが致しました。

顧みますれば四十幾星霜の歳月が瞬時によりがえって参ります。

朝にあの秀麗富士を仰ぎ、校歌を口遊み、学泉寮寮歌を合唱し、若き青春の血をたぎらせ、勉学に勤しみしあの頃、また空腹に耐え、スポーツに熱中致せし毎日が、昨日の出来事のように思い出されます。

日大三島出身者の誰しもが、多かれ少なかれこの熱き情熱に感涙した事を、走馬灯の一コマ二コマに記録している事と存じます。

当時の校舎は、旧陸軍の木造二階建の古ぼけた兵舎の跡でした。また学泉寮とは名ばかりの軍馬の馬舎を改良した木造瓦葺の馬の臭いがした古い建物でした。しかし在寮生特に運動部の連中の目は、日本の将来は吾々が背おって立つのだとの意気に燃え、うすよごれた黒マントをはおり、白線帽をか

ぶり高歯の下駄を履き、ストーム(タキ火)を囲んで乱舞する姿は、今にも天に昇るかの如きでした。あの若者達の情熱が、今日の平和な経済大国日本の礎となったものと、私は心から信じて止みません。

日大三島出身者には、この様な先輩達が多々おります。

後輩同窓生及び在校生諸兄一同、この先輩達の栄光の後に続いて各界に。私は日大三島出身者だ」と誇りを持って御活躍下さる事とお祈り申し上げます。

尚来年もまた運動部のOB会を是非開催致したく念じておりますので、後輩の方々にも是非御案内を差上げたく存じます。

皆様方の御健勝と御多幸をお祈り致します。

(ラグビー部OB)



奈良研修旅行手記

沓間 恭子

を周り、山辺班は、石上神宮、倉田陵、檜原神社、長岳寺、崇神天皇陵を周りました。どちらもサイクリングで見学したので学生の皆さんにとっては少々大変だったようですが、皆それぞれに感慨深い感動を覚えたようでした。第二日目には、服部先生の御紹介により、墨造りの松寿堂さんの御好意により、墨造りの構定を見学させていただきました。

研修の目的は、現地でより深く風土と歴史に密着した文学に親しみ、教養を高めるためのもので、学生の皆さんも普段は書物の中でしか知ることのできない万葉の里に直に接することにより、学問意欲が以前に増して高まったと上々の評判でした。加えて、奈良大学教授の浅田隆先生による『奈良近代文学案内』の講演や、鳴津教授の『万葉の里探究の旅』のレクチャーが、一層その成果を高めたものだと感じました。

私観といたしましては、今回の二日間の旅行を通じて心に残ったことは、最近とくに若い人の目に余るマナーの悪さが指摘されつつありますが、学園の短大生の皆さんはその点予想以上に良かったこと、また、この集団生活というものを通じてより一層のマナーが身

についたと思われるところです。今回の旅行を実行するに当たり、浅田先生、松寿堂の皆さん、ホテル『フジタ奈良』のスタッフの方々、ことなきを得てお世話になった東急観光熱海支店の担当の方、その他大勢の方々に、この書面を通して感謝の意を表したいと思っております。

また、たった二日の研修旅行でありましたが、私を含まして皆さんが、普段では得ることのできない貴重な経験ができたと思います。

(国文研究室副手)



幹事	関本 文彦	(27・28)	幹事	高藤 省三	(49)	幹事	宮下 正俊	(39・40)
幹事	真部 喜孝	(27・28)	幹事	河田 敏明	(50)	幹事	瀬村 隆治	(42・43)
幹事	結城 勇一	(27・28)	幹事	滝本 博	(53)	幹事	吉田 力	(44・45)
幹事	土屋 仁	(27・28)				幹事	長倉 良幸	(44・45)
幹事	丸山富美雄	(28)				幹事	前山 良光	(45・46)
幹事	小椋 貞夫	(28・29)	幹事	岩崎 尚枝 (伊藤)	(41・42)	幹事	早川 清文	(45・46)
幹事	坂詰 正衛	(28・29)	幹事	小永井京子	(43・44)	幹事	菅野 利幸	(45・46)
幹事	望月 知林	(28・29)	幹事	平岩美知子 (金子)	(44・45)	幹事	三枝 和彦	(46・47)
幹事	安東 安生	(29・30)	幹事	高橋真理子 (大場)	(44・45)	幹事	天野 寿一	(48・49)
幹事	田嶋 文義	(29・30)	幹事	加藤 和代 (牧野)	(46・47)	幹事	埜村 光伸	(53・54)
幹事	寺崎 哲郎	(29・30)	幹事	石井千枝子	(46・47)			
幹事	関 哲男	(29・30)	幹事	古川 幾代	(56・57)	幹事	岩月 和男	(40・41)
幹事	林田 達郎 (中村)	(29・30)	幹事	佐野 裕子	(58・59)	幹事	中山 義昭	(41・42)
幹事	森 伸夫	(30・31)	幹事	下山 恵子	(58・59)	幹事	渡辺 清	(42・43)
幹事	道見 俊廣	(30・31)	幹事	鍵山 美希 (清水)	(59・60)	幹事	赤地 哲也	(42・43)
幹事	小野 武	(30・31)	幹事	辻井 哉子	(60・61)	幹事	深井 富雄	(45・46)
幹事	杉山 茂	(30・31)	幹事	沓間 恭子	(60・61)	幹事	河田 哲雄	(46・47)
幹事	根岸 元宏	(31・32)	幹事	佐藤 明美	(61・62)	幹事	西家 勝彦	(51・52)
幹事	加藤 三洲	(31・32)	幹事	鈴木三奈子	(62・63)	幹事	勝呂 千明	(52・53)
幹事	渡部 浩司	(31・32)						
幹事	大村日出雄	(32)	幹事	荒木とよ子 (飯村)	(39・40)	幹事	今関 邦彦	(26・27)
幹事	甲田 知由	(33)	幹事	萩野谷 肇	(41・42)	幹事	加藤 晴俊	(30・31)
幹事	杉本 直志	(33)	幹事	上田 定義	(41・42)	幹事	加藤 博昭	(48・49)
幹事	市橋 悟	(34)	幹事	加藤 久貴	(46・47)	幹事	津田 正克	(50・51)
幹事	朴沢 英憲	(34・35)	幹事	秋山 稔明	(46・47)	幹事	後藤 善夫	(52・53)
幹事	吉野 洋一	(35)	幹事	前田 正丈	(47・48)	幹事	西島みゆき (今井)	(52・53)
幹事	横田 晋朗	(35)	幹事	藤本 哲生	(47・48)			
幹事	鈴木 肇	(35)	幹事	野田 栄	(47・48)	幹事	遠藤日出夫	(37)
幹事	御供 政紀	(35・36)	幹事	棚橋 敏彦	(50・51)	幹事	渡辺 博夫	(37)
幹事	小沢 文郎	(36)	幹事	小松真由美	(51・52)	幹事	江川 洋	(42)
幹事	大西 良雄	(37)	幹事	矢崎 真治	(53・54)	幹事	藤幡 俊量	(46)
幹事	小川 武司	(37)						
幹事	多田清太郎	(37)	幹事	松嶋 絹江	(54・55)	幹事	松原 裕二	(54～57)
幹事	坂口 正剛	(37)	幹事	大石多佳子	(57・58)	幹事	井上 晶子 (賛川)	(54～57)
幹事	小石川宣照	(37)	幹事	渡辺 桂子	(60・61)	幹事	山本 ゆか	(58～61)
幹事	谷崎 邦昭	(38)	幹事	片村 則子	(61・62)	幹事	後藤 幸江	(58～61)
幹事	栗山 康雄	(39)	幹事	日吉みちよ	(61・62)			
幹事	両角 勇	(42)	幹事	角田 由美	(62・63)			
幹事	濱田 義之	(45)	幹事	林 尚美	(62・63)			

平成5年度役員

(平成5.11.3現在)

顧問	西村 満男	(21～23)	常任幹事	榎本 睦美	(45・46)	幹事	長谷川駿一	(23～25)
顧問	西村美枝子 (長谷川)	(22～24)	常任幹事	西野 和衛 (望月)	(46・47)	幹事	徳増 清二	(23～25)
顧問	中嶋 信行	(23～25)	常任幹事	江本 博勝	(46・47)	幹事	石野 進	(23～25)
顧問	奥田 吉郎	(23～25)	常任幹事	宮川 守	(47・48)	幹事	石垣 恭弘	(23～25)
顧問	見上 勇逸	(27・28)	常任幹事	沼上 博美 (伊出)	(48・49)	幹事	井上 忠彦	(23～25)
			常任幹事	関野 幹雄	(48・49)	幹事	細田 昭次	(23～25)
			常任幹事	大島 裕二	(52・53)	幹事	杉山 吉房	(23～25)
会長	宮沢 主計	(25・26)	常任幹事	斎藤 聡	(54～57)	幹事	深沢 昭八	(23～25)
副会長	渡辺 勝一	(26・27)	常任幹事	小澤里佳子	(57・58)	幹事	服部 房夫	(23～25)
副会長	鈴木 邦良	(27・28)	常任幹事	野田 正人	(62・63)	幹事	芦澤 克治	(24～25)
副会長	平井 千枝	(34・35)	会計監査	持田 光雄	(31・32)	幹事	石川 進	(25・26)
副会長	高田 菊平	(36)	会計監査	中島 敏男	(30・31)	幹事	矢沢 知秋	(25・26)
副会長	山田 浩子	(41・42)				幹事	長倉 祐作	(25・26)
副会長	岩崎 一雄	(43・44)				幹事	宮崎 茂樹	(25・26)
副会長	宮下 公雄	(54～57)	幹事	高田日出太郎	(21)	幹事	伊藤 悟	(25・26)
事務局長	佐野 勝己	(39・40)	幹事	馬場 康夫	(21・22)	幹事	辻 省二	(26・27)
常任幹事 (庶務担当)	久保田 勝	(38・39)	幹事	中野 繁	(21～23)	幹事	田村 実	(26・27)
常任幹事 (庶務担当)	田中 由雄	(42・43)	幹事	石垣 義親	(21～23)	幹事	浅原 好胤	(26・27)
常任幹事 (会計担当)	土屋 忠得	(40・41)	幹事	小野 真一	(21～23)	幹事	宮崎 乾朗	(26・27)
常任幹事	木村 幸夫	(23～25)	幹事	米内 国夫	(21～23)	幹事	高橋 英明	(26・27)
常任幹事	白鳥 義仁	(25・26)	幹事	澤 直和	(21～23)	幹事	荒川 通	(26・27)
常任幹事	大井 徹也	(26・27)	幹事	滝川 昇	(22・23)	幹事	岩永 勉	(26・27)
常任幹事	鈴木 義樹	(28・29)	幹事	中浜 卓弥	(22～24)	幹事	塩田 浩	(26・27)
常任幹事	角田 義廣	(30・31)	幹事	中塩 利雄	(22～24)	幹事	村野 静司	(26・27)
常任幹事	市川 紀子	(37・38)	幹事	北條 晃	(22～24)	幹事	光信 儔	(26・27)
常任幹事	小出 博	(40・41)	幹事	長田 涉	(22～24)	幹事	稲葉 昭	(26・27)
常任幹事	柴田 正	(41・42)	幹事	山内 茂	(22～24)	幹事	吉田 昭二	(26・27)
常任幹事	土屋 貞明	(42・43)	幹事	川口 正信	(22～24)	幹事	熊崎 文二	(26・27)
常任幹事	小早川隆義	(42・43)	幹事	小林 昭雄	(22～24)	幹事	興水 啓一	(26・27)
常任幹事	染谷 徳昭	(42・43)	幹事	金田 豊	(23～25)	幹事	廣田 均	(26・27)
常任幹事	渡辺 忠昭	(42・43)	幹事	松本 秀雄	(23～25)	幹事	栗原 恒夫	(26・27)
常任幹事	林田 孝二	(43)	幹事	小林 栄三	(23～25)	幹事	黒滝 祐司	(27・28)
常任幹事	山口 良児	(43・44)	幹事	勝俣 敏充	(23～25)	幹事	小林 義尚	(27・28)
常任幹事	相田 信次	(44・45)	幹事	山本 康弘	(23～25)	幹事	佐藤 力男	(27・28)
常任幹事	鈴木 正八	(44・45)	幹事	森下 菊美	(23～25)	幹事	田村 栄一	(27・28)
常任幹事	山崎 光義	(44・45)	幹事	宝地 克哉	(23～25)	幹事	鈴木 稔	(27・28)
常任幹事	久保田博明	(45・46)	幹事	播本 弘	(23～25)	幹事	上野 実	(27・28)

平成4年度 事業報告

1 三島同窓会長賞授与

平成4年度日本大学三島キャンパス在学生から、次の者が推薦された。同窓会長賞（副賞記念品）は、国際関係学部3名、短期大学部4名に贈られ、平成5年3月25日の卒業式当日、日本武道館で授与式が行われた。同窓会長賞（副賞奨学金）は、国際関係学部4名、短期大学部2名に贈られ、4月9日の開講式当日授与式が行われた。

同窓会長賞（副賞記念品）7名 服部典子(国際関係学科) 長谷川哲夫(国際関係学科) 村上東洋男(国際文化学科)
小川真弓(国文専攻) 森川容子(国文専攻) 岩酒文子(商経学科一部)
川原浩貴(商経学科二部)

同窓会長賞（副賞奨学金）6名 門脇正朋(国際関係学科) 藤原誠吾(国際文化学科) 平野靖雄(国際関係学科)
若松はるか(国際文化学科) 諏訪紫乃(国文専攻) 坂口聖剛(商経学科二部)

1 会報発行

会報23号、平成4年11月1日付 10頁 3,000部を発行した。

1 各科同窓会等補助

(1)大学体育団体育成を目的に、200,000円を補助した。

1 常任幹事会

平成4年6月11日(木)18時から、田代パレス（市内）で開催した。

1 幹事会

平成4年7月3日(金)18時30分から、国際関係学部8号館2階で開催した。

1 総会並びに懇親会

平成4年11月1日(日)16時から、総会並びに懇親会を国際関係学部記念館で開催した。

1 箱根駅伝応援 詳細は会報23号に記載されております。

平成4年度 収支決算書

(平成4年4月1日～平成5年3月31日)

単位：円

支 出 の 部				収 入 の 部			
項 目	予 算 額	決 算 額	差 異	項 目	予 算 額	決 算 額	差 異
奨 学 費	240,000	240,390	△390	会 費 収 入	4,218,000	4,218,000	0
学 園 歌 集 発 行 費	280,000	0	280,000	雑 収 入	852,074	1,090,179	△238,105
同 窓 会 報 発 行 費	180,000	151,204	28,796	前 受 金 収 入	2,700,000	2,865,000	△165,000
各 科 同 窓 会 等 補 助	320,000	320,000	0				
総 会 並 び に 懇 親 会 費	400,000	337,634	62,366				
会 議 会 合 費	300,000	283,927	16,073				
通 信 運 搬 費	50,000	19,444	30,556				
事 務 費	120,000	33,340	86,660				
雑 費	300,000	136,150	63,850				
予 備 費	800,000	150,160	649,840				
計	2,890,000	1,672,249	1,217,751	計	7,770,074	8,173,179	△403,105
基 金 繰 入 額	2,200,000	3,600,000	△1,400,000	基 金 繰 出 額	0	0	0
次 年 度 繰 越 金	2,700,000	2,920,856	△220,856	前 年 度 繰 越 金	19,926	19,926	0
前 受 金	2,700,000	2,865,000	△165,000				
繰 越 金	0	55,856	△55,856				
合 計	7,790,000	8,193,105	△403,105	合 計	7,790,000	8,193,105	△403,105

貸 借 対 照 表

(平成5年3月31日現在)

単位：円

借 方				貸 方			
項 目		金 額		項 目		金 額	
普 通 預 金		1,520,856		基 前 年 度 繰 越 額		27,100,000	
通 知 預 金		0		本 年 度 繰 入 額		23,500,000	
定 期 預 金		28,500,000		次 年 度 繰 越 金		3,600,000	
				前 受 金		2,920,856	
				繰 越 金		2,865,000	
				繰 越 金		55,856	
合 計		30,020,856		合 計		30,020,856	

基 金 の 内 訳

単位：円

項 目	前 年 度 繰 越 額	本 年 度 繰 入 額	合 計
同 窓 会 事 業 基 金	20,200,000	3,000,000	23,200,000
国 際 関 係 学 部			
校 友 会 加 盟 基 金	3,300,000	600,000	3,900,000
計	23,500,000	3,600,000	27,100,000

平成4年度収支について、関係帳簿並びに証拠書類を精査いたしました。記帳その他正確であることを認めます。

平成5年7月16日

会計監査 持 田 光 雄 ㊞
同 中 島 敏 男 ㊞

平成5年度 事業計画

1 三島同窓会長賞授与（副賞：記念品もしくは奨学金）

日本大学国際関係学部および短期大学部を平成6年3月に卒業・4月に進級の予定の者を対象とする。

国際関係学部 各学科3・4年生 各1名宛 賞状及び奨学金

短期大学部 各学科 1・2年生 各1名宛 賞状及び記念品もしくは奨学金

1 学園歌集発行予定

3,000部を発行し、平成5年4月と6年4月国際関係学部・短期大学部各学科の新入生全員に対し、入学祝いとして渡す。

1 会報発行予定

会報24号（平成5年11月）発行 10頁 3,000部

1 各科同窓会等補助

(1)各科の名簿編集の推進。

(2)大学体育会に対する補助。

1 常任幹事会

平成5年7月16日(金)17時30分から、国際関係学部8号館2階において開催する。

1 幹事会

平成5年7月16日(金)18時から、国際関係学部8号館2階において開催する。

1 総会並びに懇親会

平成5年11月3日(水)16時から、国際関係学部記念館で開催する。

1 箱根駅伝応援

平成6年1月3日(月)往路スタート地点 8時出発

平成5年度 収支予算書

（平成5年4月1日～平成6年3月31日）

単位：円

支 出 の 部				収 入 の 部			
項 目	本年度予算額	前年度予算額	増減（△）	項 目	本年度予算額	前年度予算額	増減（△）
奨 学 費	650,000	240,000	410,000	会 費 収 入	4,293,000	4,218,000	75,000
学 園 歌 集 発 行 費	230,000	280,000	△50,000	雑 収 入	961,144	852,074	109,070
同 窓 会 報 発 行 費	180,000	180,000	0	前 受 金 収 入	2,850,000	2,700,000	150,000
各科同窓会等補助	320,000	320,000	0				
総会並びに懇親会費	400,000	400,000	0				
会 議 会 合 費	300,000	300,000	0				
通 信 運 搬 費	50,000	50,000	0				
事 務 費	100,000	120,000	△20,000				
雑 費	200,000	200,000	0				
予 備 費	800,000	800,000	0				
計	3,230,000	2,890,000	340,000	計	8,104,144	7,770,074	334,070
基 金 繰 入 額	2,080,000	2,200,000	△120,000	基 金 繰 出 額	0	0	0
次 年 度 繰 越 金	2,850,000	2,700,000	150,000	前 年 度 繰 越 金	55,856	19,926	35,930
前 受 金	2,850,000	2,700,000	150,000				
繰 越 金	0	0	0				
支 出 の 部 合 計	8,160,000	7,790,000	370,000	収 入 の 部 合 計	8,160,000	7,790,000	370,000

国際関係学部同窓会だより

●第九回国際関係学部同窓会が平成四年十一月二十八日(土)三島市内の田代パレスにて開催されました。

本年三月の卒業生三三七名を新会員として迎えての会でしたが、今回も参加者は少なく、幾つかの課題を残しましたが、総会内容は充実しており、これからの活躍が期待されるものと確信されました。

引き続き行われた懇親会では、大学から大勢の先生方を迎え、山崎康人先生や岩城之徳先生から、ご挨拶をいただき、日大三島同窓会長宮沢主計氏から乾杯のご発声で会が進み、和やかなうちに来年度の再会を祈り、浅川道夫氏の音頭で日本大学校歌を斉唱し幕を閉じました。

●第十回を迎えた本学部同窓会が富桜祭準備たけなわの十月三十日(土)に、市内田代パレスで開催されました。

本会は、今年三月の卒業生国際関係学科一六八名、国際文化学科一六三名、計三三三名の十一期生を迎え、総数二、九三〇名の同窓会になりました。

当日は、五十余名の卒業生、大学から学部長村田博司先生をはじめ、多くの先生方や、日大三島同窓会からの来賓をお迎えして総会が開かれた。

総会に引き続き懇親会で村田学部長より、大学の近況、語学教育の成果による海外派遣留学生、来春の卒業生の就職状況等の丁寧なるご挨拶をいただき、続いて宮沢主計三島同窓会長からは、バブル崩壊後の厳しい社会状況の時代にこそ、若い方が活力を発揮して欲しい旨の力強いご祝辞をいただきました。

また乾杯は山崎康人先生の音頭で和やか

に進められ、お互いに懐かしく語り合う姿や、近況を報告している方々などの姿がみられた。

今後の国際関係学部同窓会の活動と将来の校友会発足の活力となることと次回の同窓会に結集する旨の意志をかため、十一期卒業生の体育団剣道部出身の塚原将氏の音頭で日大校歌を全員で斉唱し閉会した。



桜文会だより

去る二月十三日、短期大学部文学科の同窓会(桜文会)が三島プラザホテルで開催されました。第二十六回を迎えた本会では、卒業を三月に控える四百四十余名の新学期入会に加え、同窓諸姉の多数の参加により盛大な総会を開催させることができました。

同会は、谷口次長の挨拶で始まり、ポインタ先生の愛称で長い間学生に大変親われ、本会におきましても大変お世話になりました。

ゆくゆく人々を迎えて次回の総会もまた、成功させていきたいと思ひ、桜文会を通じてこれからも会員の方々が交流を深め、新たな発展につながるよう心から祈ってやみません。



桜栄会だより

桜栄会では毎年会報「桜栄」を発行しております。今年度は二十八号を平成四年十二月二十日に発行し、約七〇〇〇名の全会員に郵送致しました。

平成五年二月十四日(日)には第三十三回総会・懇親会が田代パレスにて開催されました。総会では年間報告、会計報告などを行った後、杉山泰子教授を講師に迎えて講演会が行われました。懇親会では三期・十三期・二十三期の当番期会員をはじめ七十七名の会員が出席し、恩師の先生方との和やかな時間を過ごしました。また、三島同窓会からは鈴木副会長、中嶋前同窓会長の出席をいただきました。

来年は総会・懇親会を六月頃行う予定であり、現在会報の発行と共に準備を進めております。会員の皆様の御協力をお願い致します。

